



2018年度～2020年度
NHKエンタープライズ 中期経営計画

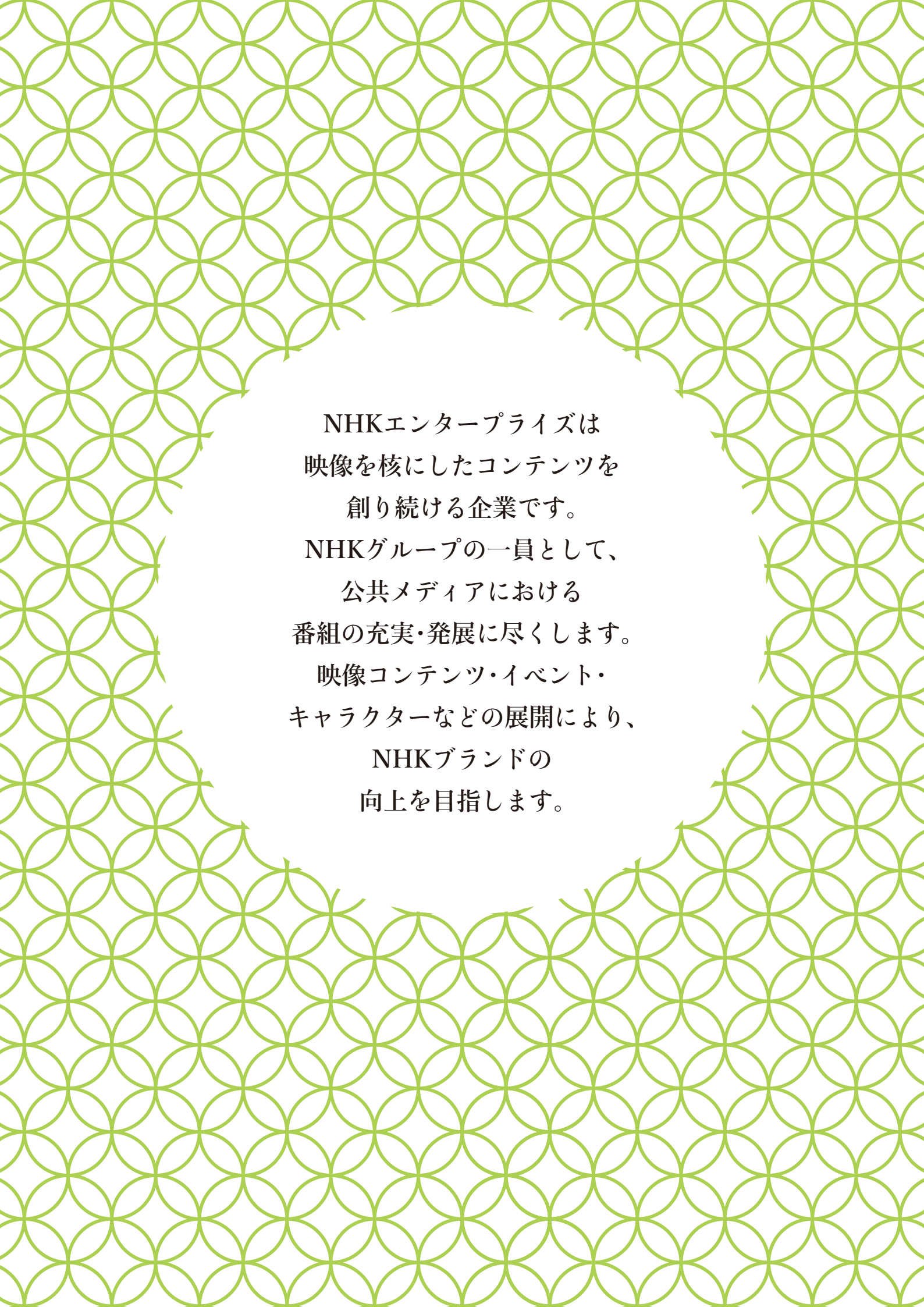


株式会社 NHKエンタープライズ
〒150-0047 東京都渋谷区神山町4-14 第三共同ビル
tel.03-3481-7800 fax.03-3481-7660
www.nhk-ep.co.jp

2018.03



nep
NHKエンタープライズ

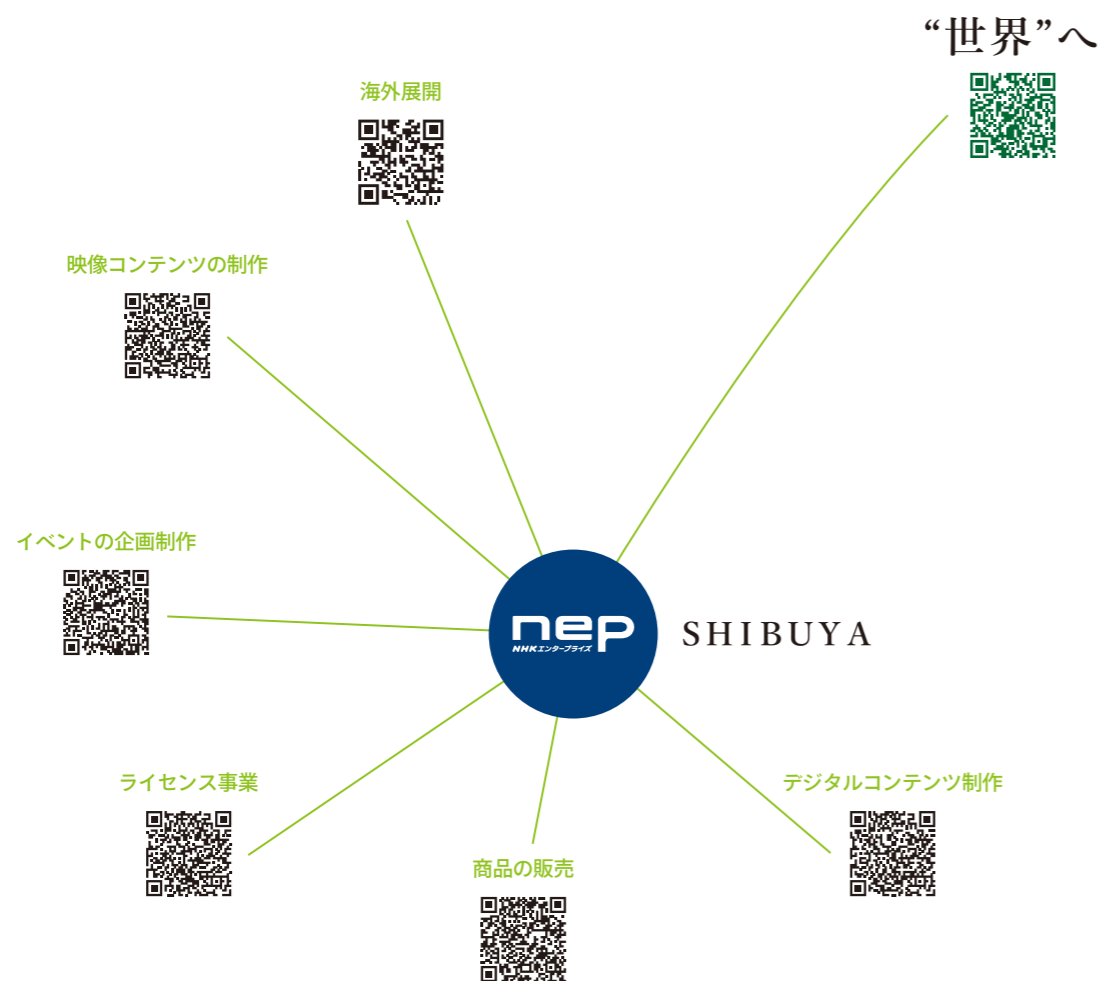


NHKエンタープライズは
映像を核にしたコンテンツを
創り続ける企業です。
NHKグループの一員として、
公共メディアにおける
番組の充実・発展に尽くします。
映像コンテンツ・イベント・
キャラクターなどの展開により、
NHKブランドの
向上を目指します。

SHIBUYAから “世界”へ

～NHKグループの未来を拓く～

放送と通信の世界が大きく変化し、
公共放送が公共メディアへ
進化しようとしている時代。
私たちNHKエンタープライズは
その先陣をきります。



私たちは制作と展開を一体として進め、放送外の
コンテンツ事業を拡大していきます。

コンテンツ創りの総合力がNEP最大の特徴です。第一級の制作力を最大限に
生かしながら、制作と展開の関係をより密接なものとし、制作のスタート
時点から事業展開や権利の確保を一体としてとらえ、放送外へのコンテンツの
拡大を一人ひとりが意欲的に推進します。



社内・社外のノウハウを結集し、新しい世代の顧客や海外の市場を獲得していきます。

変化する時代に対応したコンテンツを創り出すために、専門性の高いNEPの制作力を結集するとともに、外部の優れた才能と連携し、斬新なコンテンツを生み出せる仕組みを作ります。私たちの制作するコンテンツが、より広い世代や国際マーケットに受け入れられ、高い評価を得られることを目指し、「コンテンツ市場の開拓者」となります。



©尼子隼兵衛 / NHK・NEP ©ミュージカル「忍たま乱太郎」製作委員会



©TOKYO JAZZ WEEKEND～みんなのジャズ～



©Photo by Hiroyuki Takahashi / NEP

東京 2020に向け、世界の注目を集める渋谷から最先端のコンテンツを発信します。

2020年へと向かう3か年のタイムラインには、4K・8K本放送、東京オリンピック・パラリンピックという大イベントが待っています。これは私たちの強みを生かす好機です。100年に一度という再開発が進み、世界の若者が集まる街・渋谷から、時代の最先端を行くコンテンツの発信に挑戦します。そしてポスト2020においても確固たるコンテンツ創造企業であり続けるべく、進化を続けていきます。

2018⇒2020 大切にしている8つのこと

1. 制作と展開 新たなステージへ

2. 外部の才能との連携

3. 若い世代の獲得と海外市場の開拓

4. 放送と通信の新しい展開

5. 「東京 2020」への挑戦

6. アーカイブスの活用

7. 選択と集中、スピード感ある経営

8. 健康的に、楽しく働ける組織へ



1. 制作と展開 新たなステージへ ～NHKブランドのさらなる向上～

- 制作本部とグローバル事業本部、そしてライツアーカイブセンターの社内連携を積極的に進めるため、2018年度より番組制作の現場に『展開プロデューサー』を新たに配置します。展開プロデューサーは原則グローバル事業本部の展開・戦略に本籍を置き、イベント、商品化、海外販売など番組の多彩な展開に取り組み、NHKブランドのさらなる向上を目指します。
- 制作と展開の一体化により、新たなメディアも含めた幅広い事業を開拓するため、2018年度中に開発体制を見直します。これまで以上の予算を確保することで、積極的な新規事業への挑戦を加速し、将来の収益の柱を育てます。

外部の才能との連携 ～制作力のジャンプアップ～

- 制作力のさらなる強化に向けて、社内プロデューサー、ディレクターがチームを組み、ノウハウやアイデアを結集します。
- NEPのプロデューサーが中心となり、外部のディレクターや異業種のクリエイターがもっている「見せる技術」や「若い世代をひきつける」個性や才能と連携します。この交流を番組やコンテンツの品質のジャンプアップにつなげ、コンテンツ業界の発展に尽くします。
- 外部の才能との連携は、展開や権利確保の現場でも推進し、イベントやDVDなどの新たな事業の開拓や人材育成にも生かしていきます。



3.

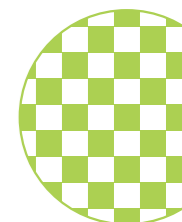
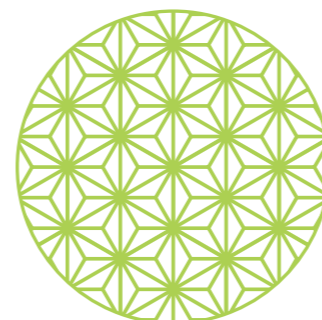
若い世代の獲得と海外市場の開拓

- これまで触れあうポイントの少なかった新しい世代に、さらに多くの番組を届けていきます。若い世代へのアピールに成功している展開事業では、ネット展開、イベントやキャラクター展開など様々な方法でコンテンツの魅力を最大化していきます。
- ドラマや自然番組などで取り組んでいる、4K8Kによる国際共同制作をさらに幅広い分野の番組でも推進、世界最高水準の映像・音声をアピールします。また、アニメでは独自の大型シリーズの開発により、多面的展開を含んだコンテンツ販売を行うなど、海外市場の開拓者となります。

4.

放送と通信の新しい展開

- 若いネット利用者をコアターゲットにした、これまでに無いコンテンツの開発を使命の一つと考え、全社一丸となってネット時代に適応し進化していきます。
- きたるべき通信5G化の時代を視野に入れ、技術や市場動向の情報収集を絶えず行い、新しい技術を取り入れたサービスの開発やコンテンツの試作に積極的に挑戦し、NHKグループの先導的な役割を果たします。
- これまで蓄積したNEPならではの権利確保のノウハウを将来のメディアにおいても十分に発揮していきます。



「東京 2020」への挑戦 5.

- 2020PJの体制を強化し、NEPのノウハウを最大限に発揮して、東京 2020を応援するイベントや映像の制作に取り組みます。
- 4K8K、360度撮影、VR、さらには5Gなどの先端技術を駆使し、「時代を先取りする」映像×イベントの創造に挑戦します。
- 渋谷の街に文化の発信拠点を作りだし、街全体を巻き込んだ、幅広い世代がリアルにNHKブランドに触れられる、ポスト2020につながる新たなレガシーを生み出します。

6. アーカイブスの活用

- 改元、日本で開催される2019年ワールドカップ・ラグビー、そして2020年オリンピック・パラリンピックという節目はアーカイブスにとってもビジネス展開の絶好の機会です。蓄積された資産の調査や修復を進めながら、独自コンテンツの企画・開発やイベント企画との連携、映像・音声素材の提供などに積極的に取り組んでいきます。
- 良質なフィルム番組を4Kでよみがえらせるなど、4K・8K放送との新たな連携を目指します。また、川口に移転したレコードライブラリーの活用、権利確保・処理業務を効率化するためのAI技術の活用も検討します。

7. 選択と集中、スピード感ある経営

- NEPは、これらの重点項目を実現できるよう、より一層スピード感のある経営を行います。新たな経営環境の変化に即応して、必要な部門にパワーを集中し、一方で業務のスクラップを行うなど、「選択」と「集中」を進めていきます。
- 各部門と連携し円滑な業務対応が出来るよう経営企画室の体制を見直すと同時に、会社全体のより効率的な業務運営を目指して新しい管理システムの開発を進め、業務の分散する部門の統合などを図ります。
- 地域社会への貢献など、グループの新たな経営課題に対応します。
- NHKグループ経営に資するリスクマネジメント強化とコンプライアンスの徹底により、変化する時代に対応する柔軟な組織の基盤整備に努めます。

健康的に、楽しく働ける組織へ 8. ～“創造する組織”への投資～

- NHKグループの「働き方改革宣言」にもとづき、働き方改革推進委員会を社内に設置し、長時間労働の見直しや休日の確保などワークライフバランスの実現に向けた取り組みを推進します。また、在宅勤務など、新たな勤務形態のトライアルにも迅速かつ積極的に取り組んでいきます。
- 社員の一人ひとりが「健康第一で」「やりがいのある」「創造的な仕事」を実現できるような職場作りを進めていきます。専門性を高める留学制度の導入、健康管理策の拡充や長期勤務者への自己啓発のための長期リフレッシュ休職制度などの施策も検討していきます。
- 組織発展の基礎は社員の健康にあります。NEPは「誰もが生き生きと、元気で楽しく働くことができる職場作り」を宣言します。

2018～2020年度 業績目標



売上	540 億円	545 億円	555 億円
営業利益率	0.5%	0.7%	1.0%

- 毎年度着実な売上の増加をはかり、計画最終年度の2020年度には555億円を達成します。
- 一般取引を主とした、展開事業の売上増加をめざします。
- 営業利益率は、2020年度に1.0%の達成を目標とします。

※本計画は、社会・経済情勢の変化や、東京 2020関連業務の動向などに応じて見直すことがあります。